

続源義経（1956）

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

時間 86分

初公開日 1956/03/15

【解説】

前年に公開された「源義経」の続編。前作同様、村上元三の同名小説を八尋不二が脚色し萩原遼が監督した。キャストも前作に引き続き、中村錦之助が源義経、月形龍之介が武蔵坊弁慶を演じている

鞍馬寺を出た牛若丸は鏡の宿で自ら元服、源九郎義経を名乗り、奥州平泉の藤原秀衡のもとで新しい生活が始まった。義経はそこで蝦夷の王である赤路具と少女モイヤ、そして陸奥一番の美女といわれる河辺のしのぶたちと出会う。治承四年になると以仁王から「平家を追討せよ」という命令が下り、兄の頼朝は挙兵した。ある日、京都から幼なじみのうつぼが義経に会いにやってきて、二人はその夜、結ばれた。だが頼朝敗走の知らせが来たため、義経は兵を挙げて立ち上がるのだった。

【クレジット】

監督 萩原遼

企画 大森康正

原作 村上元三

脚本 八尋不二

撮影 吉田貞次

美術 川島泰三

音楽 小杉太一郎

出演 中村錦之助

千原しのぶ

山田五十鈴

宇佐美淳

中村歌昇

月形龍之介

竜崎一郎

南原伸二

中村萬之助